

質問

地域防災における

- ① 自主防災組織の現況と自主防災計画の策定について
- ② 防災士の位置付けと役割について



答弁

- ① 来年度より市の防災担当者と各地区の町内会や自主防災組織等が一体となり地区防災計画の策定や自主防災組織の活動計画の見直しに着手する予定です。
- ② 災害による被害を最小限に抑える為には地域住民を主体とする地域防災の取り組みが必要です。その際を中心として防災士の役割は重要であり、専門的な知識を活用し地域の防災リーダーとして自主防災組織の活動を牽引していただく事を期待しています。

解説と 所感

館山市では防災士資格取得に係る費用の助成を行っており、現在149名の防災士が養成されています。今後、研修や防災士同士の横のつながり、地区との連携など防災士が各地域に定着しその役割を果たせるよう行政として取り組まれることで本市の災害対応力を補完し、市民の命と財産を守る大きな力になるのではないのでしょうか？



質問

食のまちづくり拠点施設 道の駅グリーンファーム館山の現状と課題について

- ① この1年間の施設面、設備面、農園における課題解決に向けた取り組みと現状について
- ② 運営面の課題解決に向けた取り組みと現状について
- ③ 今後の取り組みについて

答弁

- ① 夏場の外気流入対策、強風による砂埃流入対策の応援処置を行いました。
売場とイートインスペースが狭い点はキッチンスタジオを代用しています。
駐車場から店舗に移動する動線に身障者に配慮した雨除け対策が必要と認識しています。
農園では季節ごとに様々な作物の収穫体験が行われました。
- ② ③ 地域の農作物が少なく卸売市場からの仕入れに頼らざるを得ない時期がある点の解決に向け、引き続き出荷者との関係性の強化を図り地域の魅力ある産品を安定的に供給出来る体制を整備していきます。
体験メニューの拡充により他の道の駅との差別化を図り、地域の人々との協力によるイベント開催を通じ魅力向上に努めます。

解説と 所感

1年を通じ、視察を兼ねてグリーンファーム館山を利用していますがイートインスペースが狭い為、軽食を購入された来訪者が夏季においては炎天下の中、屋外で汗を拭き拭き飲食されている姿が目立ちました。中には屋外に設置されたテーブル席に向かう途中でソフトクリームが溶け出し困っている様子もみられ対策が必要であると感じました。又、令和6年12月議会の一般質問で取り上げました野菜や果実の規格外作物を利用したスムージーの販売を再度、提案致しました。スムージーはビタミンと食物繊維が手軽に美味しく摂れると人気であり自家消費や止む無く廃棄されていた規格外作物が館山ならではの特徴ある産品となれば農業者所得のプラスになるのではないのでしょうか？

